

平成30年度 児島小学校 PTA 人権教育講演会

- | | | |
|---|----|--|
| 1 | 日時 | : 平成30年10月28日(日) 9:50~10:40 |
| 2 | 講師 | : 被災地支援団体「明日への架け橋 KURASHIKI」
内田 隆志 先生 |
| 3 | 演題 | : 「伝えたい言葉・歌 ~できる人が できる時に できる事を~」 |

【 感想 】

〈 保護者・地域の方 〉

- 穏やかな口調と内田先生のお人柄を表しているような優しい曲を聴きながら、色々考えさせられる時間でした。楽しい歌詞の中には、たくさんの大切なメッセージ、内田先生の想いが込められているなあと感じました。ここ数年、国内外を問わず目まぐるしいほどに様々なことが起き、その度に子供と話してきましたが、今日の講演を聴くことができた子供達の心に、何か少しでも残るものがあったらいいなあと思います。私たちは、戦争のない幸せな時代、国に生まれ、だからこそ、今自分に何ができるのかを考えたいと思います。子供達にも、自分のことだけではなく、周りの人たちへの少しの思いやりをもつ大切さを、一人ひとりが忘れないでいてほしいなあと思います。
- 子どもたちの心をつかむ話術がすごいです。歌もしっとりと歌っているのに、どんどん引き込まれました。実際、子どもたちも最初はごそごそしていたのに、後半は、楽しそうに内田先生の話聞き、近くの友達と自分の意見を言い合う様子でした。コウノトリの話は思わず泣いてしまいました。私は、多少見ていましたが、あまりにも苦しくて見続けることができなかったドラマでした。小学5、6年生の児童には、きっと心に響く内容だったと思います。これから中学生になるこの子たちに聞かせてくださりありがとうございます。あつという間の1時間でした。

□ 話ばかりでなく、歌もあったので子どもたちもあきずに聞いたのではないのでしょうか。話の内容も庶民的で入ってきやすかったです。統計や理論的なことばかり話す先生よりよかったです。

□ 内田先生のお話を子供達と一緒におうかがいして思ったことは、「命の大切さ」でした。そして、「自分がどうあるべきか？」を考えるきっかけをいただきました。子供達に「命の大切さ」について話をするのは、伝える難しさがあると思いますが、内田先生の歌とギターの音色にのって伝わってくる言葉は、聴く人の心にじわっと染み、子供達も素直にとらえることができたのではないかと思います。とてもユニークな曲の中にも大切なメッセージが入っていて、逆にそのメッセージが引き立って心に残りました。子供とともにこれから何ができるのか？被災した方々の力に少しでもなれることをもう一度考えて行動したいと思いました。内田先生ありがとうございました。

□ ユーモアをたっぷりおりませ、心に響くお話をありがとうございました。弾き語りの歌がよりよく生きるための勇気をふくらませてくれたように思います。感性に訴える講演会、多くの方々のやさしさや思いやりの言動を後押しするすばらしい講演会をありがとうございました。

〈 児 童 〉

□ 私は、今まで自分がとても幸せだなんて思ったことはありませんでした。でも、今日この講演で、私が生まれてきたこと、ここまで成長したこと、信用できる家族、友達がいること、そして、なによりも楽しく平和にすごせていることにありがたみを感じました。そして、それは、たまたまだということも。いつも当たり前のことではないということも。だから、現実だからって放っておかず、私たちが手をさしのべることができるなら、私は全力で取り組みたいと思います。

- おもしろいコメディな歌もあったけど、その中でも、「たまたまのたまちゃん」とかにも心にささる言葉・歌詞があり、少し笑いながらも何かが心の中にささるというか、うかぶというかしずんでいくような感じがしました。ちょっとほっこり、少し笑って楽しい時間でした。
- 歌の名前がおもしろかったが、その歌に意味がたくさん込められている。命の大切さをもっと理解できるように努力し、他の人や身近な人にこれを広め、世界全体で「平和」という言葉を広めたい。いざというときに、「できる人ができる時にできる事を」、今回の演題はけっこう重要になるのではないかと思う。
- 最初に歌われた歌が印象的でした。少年兵や学校に行けない人、おやのいない人などは、なぜいるのだろうと感じさせる歌でした。ハーモニカやギターで、その歌の悲しみやせつなさを感じさせる歌をより引き立てるような気がしてきました。
- わたしが1番心に残ったことは、命を大切にすることや命のたん生についてです。わたしには妹がいます。よくけんかもしますが、妹が生まれたときはとてもうれしかったです。命のたん生をきらう人はいるのかなと話を聞きながら心の中で思いました。内田隆志先生の歌をはじめきてとてもおもしろい歌や話だったけど、その歌や話の中に大切なキーワードが入っていたのでとても良い曲だと思いました。
- ぼくは、この講演会は5年のときとちがって歌やニュースを使いながら話していることがすごいと思いました。内田先生の話の中に、人は必ず使命をもって生まれてくる、という話があって、自分は何の使命をもっているんだろう？と思いました。とても興味のある講演でした。そして、心温かい講演でした。

- 講師の内田先生の「伝えたい言葉」がよく心にひびいてきました。どの曲を聴いても、うんうんとうなずきそうな曲でした。曲を聴いて、どんな生き物にも「運命」があるんだなと思いました。新曲ができたなら聴きたいなと思ったので楽しみにしています。友達もぼくも喜んでいました。
- 私はこの話を聞いて、とても共感することができたし、あらためて、自分をふり返ることができました。とくに最初に歌った「ぼくと君」という歌が戦争をテーマにしていたけど、いじめにおきかえて聴くことができました。「平和」という1つのキーワードから、今の国中がまだまだだったんだというのが、歌をとおして分かった。楽しい歌から自分はどこどこを反省しないといけないと思えるこうえん会でした。
- 内田隆志先生が話してくれた「戦争」のこと。私は日本というめぐまれた国に生まれたことはすごく幸せなことだと思いました。私たちは戦争がどんなものかを知りません。「幸せ」とはなんのでしょうか。どんな時が幸せなのでしょう。私たちとちがう世界、環境で生まれた人たちは、どんな時が幸せなのかな？おなかいっぱいごはんを食べる時？ちがう。はやく戦争がおわってほしい。1番にそう思うのではないだろうか……。
- 時々、真けんな話の途中におもしろい話を入れてくるのがよかったです。真けんな話は、深くて曲もとても考えさせられる内容でした。「たまたまのたまちゃん」などお母さんも「よかったあ。むねにぐつときたわあ」と言っていました。「運命」や「使命」など人生はキセキだから、自分では絶対に命を断ってはいけないなと思いました。ふつとした日常の中で、そういう曲を作れるのはすごいなあと思いました。私も戦いをなくしたいなと思いました。

可能な限り原文のまま掲載 児童はひらがなを一部漢字に直しています。

